

新興電設工業株式会社

環境経営レポート 2024

対象期間:2023 年 9 月～2024 年 8 月

2024 年 12 月 1 日発行



エコアクション21®

認証番号 0013646

目次

1.	組織の概要及び対象範囲	3
2.	環境管理組織体制	4
3.	環境経営方針	5
4.	環境経営目標と実績	6
5.	環境経営計画の取組結果とその評価	7
6.	環境上の緊急事態への準備及び対応	12
7.	表彰・認証 他	14
8.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	16
9.	代表者による全体評価と見直し・指示の結果	17

1. 組織の概要及び対象範囲

事業所名 新興電設工業株式会社
 代表者氏名 代表取締役 池松 忠彦
 設立 1954 年 3 月
 資本金 6,000 万円
 所在地 【本社】〒220-0042 神奈川県横浜市西区戸部町 2-46-1
 【資材倉庫】〒220-0042 神奈川県横浜市西区戸部町 4-112
 【栃木出張所】〒329-0617 栃木県河内郡上三川町大字上蒲生 554
 環境管理責任者 総務部 経営企画室 室長 川井田 奈緒美
 及び TEL: 045-241-7711/FAX: 045-241-7717
 担当者連絡先 E-mail: soumu@shinkodensetsu.co.jp
 事業活動の内容 電気設備工事、電気通信工事、管工事



【建設業許可】

神奈川県知事 特定 75374 号 電気工事・管工事

神奈川県知事 一般 75374 号 電気通信工事

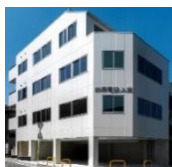
電気工事業 神奈川県知事届出 届出番号 第 240018 号

事業規模 2024 年度（EA21 運用期間:2023 年 9 月～2024 年 8 月）

	2022 年度 2021.9.-2022.8.		2023 年度 2022.9.-2023.8.		2024 年度 2023.9.-2024.8.	
売上高	831 百万円		918 百万円		1,282 百万円	
	本社	栃木出張所	本社	栃木出張所	本社	栃木出張所
従業員	31 名	3 名	28 名	3 名	29 名	4 名
事務所 床面積	435.25 m ²	95.22 m ²	435.25 m ²	95.22 m ²	435.25 m ²	95.22 m ²
倉庫床面積	79.19 m ²	45.00 m ²	79.19 m ²	45.00 m ²	79.19 m ²	45.00 m ²
工事件数	89 件	11 件	39 件	13 件	31 件	33 件

対象範囲 新興電設工業株式会社 本社、資材倉庫、栃木出張所
 （認証・登録範囲） 【認証・登録対象活動】電気設備工事、電気通信工事、管工事

本社



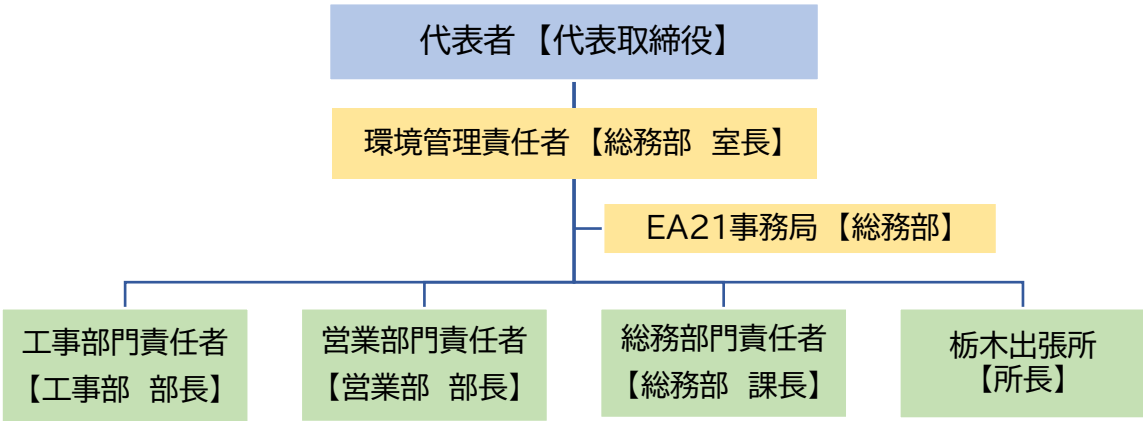
資材倉庫



栃木出張所



2. 環境経営組織体制



	役割・責任・権限
代表者	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境経営方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるE A 2 1 E M Sの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
EA21 事務局	1. 環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境目標、環境経営計画書原案の作成 4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 6. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境活動レポートの作成
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応の手順書作成、テスト、訓練を実施し記録を作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 6. 建設現場の作業員への簡単な教育（騒音、振動、廃棄物、省エネ、省資源、緊急時対応）、指示 ＊下請等の協力会社作業員含む
従業員	1. 環境経営方針を理解し、部門の環境経営計画に従って活動する。 2. 下請等の協力会社作業員も簡単な教育、指示に従って活動する。

3. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

基本理念

新興電設工業株式会社は、事業活動で生じる環境負荷を認識し、環境保全が大切であると考え、経営課題と捉えています。それを踏まえた上で、循環型社会の構築と地球温暖化防止活動に積極的に取り組んでいきます。美しい港の町である横浜での地域清掃活動に加え、環境負荷低減に向けた環境経営計画を推進し、社会インフラの提供を通じて地域社会に貢献し、豊かな自然を次世代に繋げていきます。

行動指針

1. 当社の事業活動による環境負荷削減を実行するため、下記の行動指針を定め取り組みます。
 - (1) 電力・化石燃料の節減による、二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 節水による水使用量の削減
 - (3) 廃棄物の発生抑制、削減、リサイクル促進
 - (4) 地域の工事における環境配慮型工法の促進
 - (5) 環境コミュニケーション及び地域貢献活動の推進
2. 環境関連法規・条例・その他規制を遵守します。
3. 環境経営システムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
4. SDGs 達成に向けて、社会課題や環境問題の解決に取り組めます。

この環境経営方針は、全従業員に周知するとともに、一般に公開します。

2021年11月1日 制定

新興電設工業株式会社

代表取締役 池松 忠彦

4. 環境経営目標と実績

目標 ↓ 2024 年度実績

				2021年9月～ 2022年8月	2021年9月～ 2022年8月	2023年9月～2024年8月 目標：2021～2023年実績平均の3%減						
項目		単位	基準（実績）		実績	実績	目標	実績	増減	評価	中期目標	
			2021年度	2022年度 （目標1%削減）	2023年度 （目標2%削減）	2024年度 （目標3%減）	2024年度		2025年度 （実績3年平均 の4%削減）	2026年度 （実績3年平均 の5%削減）		
電力	削減目標				1%削減	2%削減	3%削減				4%削減	5%削減
	電力使用量	kWh	本社	35,916	33,318	28,424	31,576	20,823	↓	○	31,251	30,925
			栃木	6,795	9,335	10,540	8,623	11,535	↑	×	8,534	8,446
	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	本社	15,582	14,460	12,335	13,702	9,037	↓	○	13,561	13,419
栃木			2,949	4,051	4,574	3,742	5,006	↑	×	3,704	3,665	
化石燃料	削減目標				1%削減	2%削減	3%削減				4%削減	5%削減
	ガソリン使用量	ℓ	本社	10,472	10,795	11,373	10,554	9,213	↓	○	10,445	10,336
			栃木	6,982	4,206	4,768	5,159	4,647	↓	○	5,106	5,053
	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	本社	24,922	25,046	26,386	24,688	21,375	↓	○	24,433	24,179
			栃木	16,614	9,759	11,062	12,104	10,781	↓	○	11,979	11,855
	削減目標				1%削減	2%削減	3%削減				4%削減	5%削減
	軽油使用量	ℓ	本社	0	0	93	30	1,006	↑	×	30	29
			栃木	2,784	1,188	0	1,284	0	↓	○	1,271	1,258
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	本社	0	0	242	78	2,596	↑	×	77	77	
		栃木	7,185	3,067	0	3,315	0	↓	○	3,281	3,246	
二酸化炭素(CO ₂) 総排出量		kg-CO ₂	本社	40,504	39,506	38,963	38,468	33,008	↓	○	38,071	37,675
			栃木	26,748	16,877	15,636	19,161	15,787	↓	○	18,964	18,766
廃棄物	削減目標				1%削減	2%削減	3%削減				4%削減	5%削減
	一般廃棄物総排出量	kg	本社	1,411	1,310	1,380	1,326	1,248	↓	○	1,312	1,299
			栃木	240	174	195	197	216	↑	×	195	193
	産業廃棄物総排出量	kg	本社	186,170	67,164	262,679	166,844	141,326	↓	○	165,124	163,404
			栃木	46,542	6,189	6,630	19,194	7,800	↓	○	18,996	18,798
	産廃金属の再資源化	kg	全社	55,736	28,794	173,160	83,320	93,571	-	-	-	-
建設リサイクル率	%	全社	88%	87%	93%	92%	93%	↑	○	93%	94%	
水使用量		m ³	本社	251	178	126	179	120	↓	○	178	176
			栃木	10	43	24	25	22	↓	○	25	24
貢献活動 環境・社会	エコキャップ運動	kg		3.4	8.8	6.2	-	10.2	増加	○	-	-
	使用済みユニフォーム 再資源化	kg		0.0	28.0	18.0	-	7.5	減少	○	-	-
	地域清掃活動	回／年		12	12	15	-	12	実施	○	-	-
	環境配慮型工事			提案	実施	実施	実施	実施			実施	実施
太陽光発電システム 発電量		kWh	2021年8月設置	4,490	4,550	-	4,472	減少	○	-	-	-

- 購入電力のCO₂排出係数：0.434kg-CO₂/kWh
参照：東京電力エナジーパートナー（2021年8月5日付）
- 化学物質の使用なし
- ペットボトルエコキャップ運動・使用済みユニフォーム再資源化は、数量の目標化はしないが、実施場合は、評価とする。
- 太陽光発電システムは2021年8月に設置したため、予測発電量を記載。目標値設定なし。
- 現場事務所で、灯油及び都市ガスを使用することがあるが、少量のため、削減に向けた取組を実施するものの目標化はしない。

5. 環境経営計画の取組結果とその評価

➤ 主な環境負荷の全社実績 期間:2023年 9 月～2024年 8 月

項目 *全社対象	単位	基準年・実績	実績	実績	年度目標	実績	増減	評価
	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (3%削減)	2024年度 (2023年9月～2024年8月)		
電力使用量	kWh	42,711	42,653	38,964	40,199	32,358	80% ↓	○
ガソリン使用量	ℓ	17,454	15,001	16,141	15,713	13,860	88% ↓	○
軽油使用量	ℓ	2,784	1,188	93	1,314	1,006	77% ↓	○
二酸化炭素(CO ₂)総排出量	kg-CO ₂	67,252	56,383	54,599	57,629	48,795	85% ↓	○
一般廃棄物総排出量	kg	1,651	1,484	1,575	1,523	1,464	96% ↓	○
産業廃棄物総排出量	kg	232,712	73,353	269,309	186,038	149,126	80% ↓	○
建設リサイクル率	%	88%	87%	93%	92%	93%	1%向上	○
水使用量	m ³	261	221	150	204	142	70% ↓	○
エコキャップ運動	kg	3.4	8.8	6.2	実施	10.2	減少	○
使用済ユニフォーム 再資源化	kg	0.0	28.0	18.0	実施	7.5	減少	○
地域清掃活動	回/年	12	12	15	実施	12	増加	○
環境配慮型工事		提案	100%	100%	100%	100%	実施	○
太陽光発電システム 発電量	kWh	2021年8月設置	4,490	4,550	実施	4,472	増加	○

➤ 主要な環境活動計画と評価・次年度活動

期間:2023 年 9 月～2024 年 8 月

主な活動手段		実施責任者	実施:○ 要検討:△ 未実施:×		
			運用期間 実施計画	運用期間 評価	次年度活動
二酸化炭素削減排出量	使用量把握	事務局	←→	○	継続
	節電・未使用時の電気消灯	事務局	←→	○	
	PC管理(電源オフ)の適正化	管理責任者	←→	○	
	エアコンの温度設定 最適化	管理責任者	←→	△	
	エコドライブの教育・周知・促進	事務局	←→	○	
	低公害車及び低燃費車の導入	管理責任者	←→	○	
	定期的な車両整備点検	事務局	←→	○	
廃棄物削減排出量	廃棄物量把握	事務局	←→	○	継続
	一般廃棄物の分別	管理責任者	←→	○	
	裏紙利用推奨	管理責任者	←→	○	
	3R(Reduce・Reuse・Recycle)の推進	管理責任者	←→	○	
	資材の適正発注	管理責任者	←→	○	
	産業廃棄物の分別と再資源化	管理責任者	←→	○	
水削減量	水使用量把握	事務局	←→	○	継続
	節水呼びかけ・自動水栓による節水	管理責任者	←→	○	
	配管水漏れチェック	管理責任者	←→	○	
環境・社会貢献活動	エコキャップ運動	事務局	←→	○	継続
	使用済ユニフォームの再資源化	事務局	←→	○	
	環境教育の実施	事務局	←→	○	
	地域清掃活動	管理責任者	←→	○	
	環境保護支援	管理責任者	←→	○	
環境配慮型工事	環境配慮型工事の徹底	管理責任者	←→	○	継続
	エコケーブル・環境配慮型資材の使用推進	管理責任者	←→	○	
	協力会社への環境配慮周知	管理責任者	←→	○	

1. 二酸化炭素排出量の削減

(1)電力使用量の削減 **結果：目標値達成○**

本社・栃木出張所ともに LED が設置されており、人感センサー等により自動点灯・消灯されているため、電力使用量は比較的抑えられています。ここ数年、感染症対策の換気で常に数か所の窓とドアを開けていたため、電力使用量が増加しやすい状況となっていたものの、2023 年春より感染症対策が緩和され、換気も最小限にした結果、電力使用量削減となりました。また、2021 年 8 月に本社屋上に設置した太陽光発電システムでの自家発電もプラスの影響を与えております。今後も、更なる電気の効率的な使用を再検討しながら電力使用量削減に努めます。

取り組み 1：本社屋上に太陽光発電システムを設置

2021 年 8 月に、本社屋上に太陽光発電システムと、本社 1 階に蓄電池を設置しました。本発電システムは再生可能エネルギー発電事業計画に認定され、3.3kW の発電が可能です。
1 年間の発電量：4,472kWh(1940,85kg-CO₂)



本社の電力消費量と屋上の太陽光発電量・自給率

	単位	2023.9	2023.1	2023.11	2023.12	2024.1	2024.2	2024.3	2024.4	2024.5	2024.6	2024.7	2024.8	合計
発電量	kWh	366	372	279	286	313	284	394	374	456	437	453	459	4,472
消費量	kWh	1523	1600	1646	1844	1827	1812	1879	1730	1608	1565	1620	1505	20,159
自給率	%	24	23	16	15	17	15	20	21	28	27	27	30	22%



(2)化石燃料使用量の削減 **結果：目標値達成○**

今期は、市内工事中心のため使用量は減少となりました。過去の実績では、2 都県をまたぐ工事が発生していたため、長距離移動によるガソリン使用量が多かったと考えられます。今後は、工事現場までの距離を考慮しながら適宜、目標値の見直しを検討いたします。

2. 一般・産業廃棄物排出量の削減

(1) 一般廃棄物排出量の削減 結果：目標値達成 ○

一般廃棄物は、現場事務所の設置数により増減します。今後も、一般廃棄物の分別をより強化し廃棄物削減に取り組めます。

(2) 産業廃棄物排出量の削減 結果：目標値達成 ○

産業廃棄物は、大型工事と改修工事が過去3年間平均実績に比べて少なかったため、減少となりました。工事の種類（改修 or 新築）によって、産業廃棄物の量が変わってくることで、工事の時期により廃棄物が増減するため、年間を通しての全体量で平均実績と比較検証していきます。

取り組み2:産業廃棄物の分別と適切なマニフェスト管理

廃棄物排出量の削減のため、分別管理の徹底と混合廃棄物削減に努めています。現場で分別できないものは、搬出後に業者様に分別をいただいています。



3. 水使用量の削減 結果：目標値達成 ○

全社での節水に努めており、減少につながりました。

4. 環境・社会貢献活動 結果：実施

環境・社会貢献活動を実施しました。1企業としてできる活動内容は限られていますが、引き続き、取り組んでまいります。

取り組み3:ペットボトルエコキャップ運動

2021年2月から現在に至るまで、NPO法人エコキャップ推進協会へエコキャップ12,374個を提供。

エコキャップ12,374個をゴミとして焼却した場合のCO₂発生量は90.66kgに相当します。

2021年2月～2021年8月：3.4 kg

2021年9月～2022年8月：8.8 kg

2022年9月～2023年8月：6.24 kg

2023年9月～2024年8月：10.2 kg



取り組み4:使用済ユニフォームのリサイクル

使用済ユニフォーム 7.5 kg で“AITOZ×BRING リサイクルシステム”に参加しました。リサイクル工場にて破碎し、ポリエステル原料やジェット燃料、バイオエタノールなどに再資源化されます。



取り組み5:地域清掃活動

約 10 年前より本社では毎月 1 回以上、地域の清掃活動を実施しています。上記に加えて、NPO 法人「美しい港町横浜をつくる会」の会員として、2023 年 10 月・2024 年 4 月にも横浜市内の清掃活動に取り組みました。



取り組み6:環境教育・社内教育の実施

横浜市の Y-SDGs 認証、神奈川県のかながわ SDGs パートナー登録を契機に社内研修として SDGs 研修と環境教育を実施しております。環境教育では、現場と本社間の移動で社用車を使う機会が多いため「エコドライブ 10 のすすめ」について学びました。防災訓練では水消火器を使用して、消火活動訓練も実施しました。



取り組み7:横浜市水のふるさと道志の森基金への寄附

2020 年より毎年、水源保全活動支援として、“横浜市水のふるさと道志の森基金”へ寄附活動を実施しています。
2024 年 2 月には、4 回目の寄附を実施しました。



取り組み8:大学生向けインターンシップの開催

2024 年 1 月に実施したインターンシップには、神奈川県内の大学生1名に参加いただきました。建設業界やビジネスマナーについて学んだり、工事現場見学、電気スイッチ作成の実技体験もいただきました。今後も、建設業の仕事を学生の皆さんに知っていただける機会を提供していきます。



取り組み9:小学生向け SDGs/環境教育の実施

2024 年 12 月に小学生向けに『建設業と SDGs』という環境教育を実施しました。「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」というテーマで、「太陽光発電」について学ぶ機会を提供しました。



5. 電気設備工事・管工事における環境配慮型施工工事 **結果：実施**

官公庁工事を中心に環境配慮型工事を推進しました。

今後は、環境配慮を自社だけに留まらず、協力会社にも広く周知をしていきます。

当社の業務紹介



電気設備工事・電気通信工事・空気調和・給排水衛生設備工事(管工事)

創業 79 年の当社は、神奈川県・横浜市を中心に官公庁の施設や学校、民間企業の工場などの大型電気設備工事・電気通信工事・空気調和・給排水衛生設備工事(管工事)の設計・施工・管理・保守まで手掛ける総合設備工事会社です。打ち合わせ・図面作成・管理監督・施工・検査・引渡しにいたるまで、確かな技術力を持って、安全で高品質な施工に従業員一同心掛けています。豊富な経験と実績を持つ社員が、定年後も後輩の指導にあたりながら、技術の伝承をし、若手・ベテランの混合チームで工事施工に携わっています。今後も、社会インフラの提供を通じて地域社会に貢献していきます。

6. 環境上の緊急事態への準備及び対応

当社は「横浜市公共建築物に係わる震災時の応急措置の協力に関する協定」に基づいて、横浜市より会員の指名を受けています。その他、緊急事態への準備及び対応として、2022年1月に事業継続計画(BCP: Business Continuity Planning)を作成し、従業員全員には、安全確保や避難場所、連絡先が記載されている『従業員携行カード』を配布しました。定期的に、社内教育で防災について学ぶ機会を設け、防災訓練も開催しております。

2023年2月には、関東経済産業局長より、「事業継続力強化計画に係わる認定」を受けました。

取り組み 1: 防災訓練の実施

2024年12月に防災訓練を実施しました。地震を想定したシエイクアウト訓練・避難訓練・消火訓練を行いました。消火訓練では、水消火器を使って、的に水を当てました。



取り組み 2: 熱中症対策の実施

現場では空調の無い環境や屋外での作業も発生するため、熱中症対策を実施しています。

- ①空調服の導入 ②スポーツドリンク等の準備
- ③塩飴等の常備 ④環境温湿度計を各現場でチェック
- ⑤ヘルメットインナーキャップの配布



取り組み 3: 腰痛災害防止対策

神奈川産業保健総合支援センターにご協力いただき、社内で『健康保持増進と労働災害ゼロを目指した社員向けアンケート』を実施し、分析資料をもとに腰痛災害防止研修を開催。肩こり・腰痛対策ストレッチを体験の上、日頃からの心がけが事故防止につながることを学びました。



当社の環境経営活動と SDGs(持続可能な開発目標)



	健康経営 安全・衛生管理 エコキャップの寄付 <i>横浜健康経営認証</i>		多様な人材の活躍 業務専門教育 環境教育 インターンシップ		女性活躍支援 <i>よこはまグッドバランス賞認定</i>
	給排水衛生設備工事 水道使用・節水 水資源への寄附活動		電気設備工事 省エネ・節電対策 太陽光発電で 電力自家消費		従業員の人材育成 高齢者雇用 労働環境の整備
	人権研修 ハラスメント防止		廃棄物の管理 3R の推進		環境経営マネジメント システム構築 <i>エコアクション 21</i>
	<i>横浜市 Y-SDGs 認証</i> <i>かながわ SDGs</i> <i>パートナー登録</i>		地域清掃活動		<i>横浜型地域貢献</i> <i>企業最上位認定</i>

補足：イタリックの認証名等は、「表彰・認定・認証 他」ページを参照。

9. 表彰・認定・認証 他

表彰 等(直近 5 年)



2021 年 10 月 令和 3 年度
株式会社日産クリエイティブサービス様より「感謝状」受領



2021 年 11 月 令和 3 年度 横浜市より
「令和 3 年度 横浜市優良工事施工会社設備部門 表彰」・
「令和 3 年度横浜市優良工事現場責任者設備部門 表彰」 受賞



2021 年 11 月 令和 3 年度
公益財団法人横浜市建築保全公社様より
「令和 3 年度 優良工事施工者表彰電気設備部門」
「令和 3 年度 優良現場代理人表彰電気設備部門」受賞



2022 年 11 月 令和 4 年度
公益財団法人横浜市建築保全公社様より
「令和 4 年度 優良工事施工者表彰機械設備部門」
「令和 4 年度 優良現場代理人表彰機械設備部門」受賞



2022 年 11 月 令和 4 年度 横浜市住宅供給公社様より
「令和 4 年度「工事等優良会社表彰 工事部門」受賞



2023 年 11 月 令和 5 年度
公益財団法人横浜市建築保全公社様より
「令和 5 年度 優良工事施工者表彰電気設備部門」
「令和 5 年度 優良現場代理人表彰電気設備部門」受賞



2023 年 12 月 令和 5 年度 横浜市住宅供給公社様より
「令和 4 年度「工事等優良会社表彰 工事部門」受賞



2024 年 11 月 令和 6 年度 横浜市より
「令和 6 年度 横浜市優良工事施工会社設備部門 表彰」・
「令和 6 年度横浜市優良工事現場責任者設備部門 表彰」 受賞

認定・認証 他



上段

- ① 令和 5 年 横浜グランドスラム企業表彰 受賞

中段 左から

- ② 令和 4 年 横浜型地域貢献企業<最上位>ランク 更新認定
 ③ 令和 7 年 横浜グッドバランス賞 認定
 ④ 令和 7 年 横浜健康経営認証 クラス AAA 認証
 ⑤ 令和 6 年 横浜市 SDGs 認証制度【上位】「Superior(スーペリア)」認証
 ⑥ 令和 6 年 環境省「エコアクション 21」更新登録

- ⑦ 令和 5 年 中小企業庁 関東経済産業局長 事業継続力強化計画に係わる認定

下段 左から

- ⑧ 令和 3 年 神奈川県「かながわ SDGs パートナー」登録
 ⑨ 令和 6 年 健康保険組合連合会神奈川連合会 健康優良企業認定
 ⑩ 令和 5 年 神奈川県「CHO 構想推進事業所」登録
 ⑪ 令和 4 年 神奈川県子ども・子育て支援推進事業者認証
 ⑫ 令和 7 年 経済産業省 健康経営優良法人 2025(中小規模法人部門)認定
 ⑬ 令和 4 年 独立行政法人情報処理推進機構(IPA)
 セキュリティ対策自己宣言「SECURITY ACTION」にて「二つ星」を宣言



令和 4 年 11 月 第 33 回環境社会検定試験(eco 検定)に従業員 1 名が合格

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反、訴訟等はありませんでした。

遵守確認日: 2024年 11 月 29 日

法規名	適用内容または規制基準値	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	*廃棄物排出事業者との委託契約書締結(5年間保管) *マニフェストの管理と保管(5年間保管) *廃棄物保管場所への掲示(60cm×60cm以上掲示) *マニフェストの年間集計と知事報告(6月30日まで)	○遵守
騒音・振動規制法	特定建設作業(工事)に伴い発生する騒音・振動に対する届出、地域住民との取り交わし	○遵守
消防法	危険物取扱いに係る部分のみ	○遵守
家電リサイクル法	リサイクル料支払と廃棄時の適正処理	○遵守
自動車リサイクル法	リサイクル料支払と廃棄時の適正処理	○遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコンの適正処理と自主点検の実施	○遵守
PCB 廃棄物処理特別措置法	PCB 廃棄物の適正な処理	○遵守
電気事業法	電気事業の適正かつ合理的な運営 電気の使用者の利益保護 電気事業の健全な発達を図る 電気工作物の工事、維持及び運用の規制により公共の安全確保と環境保全を図る	○遵守
建設業法	工事業者登録と更新及び技術士登録 (登録と5年ごとの更新及び資格者登録)	○遵守
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置(自治体施策へ協力)	○遵守
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力 (廃棄物等のうち、有用な物の循環的な利用を促進)	
大気汚染防止法 石綿障害予防規則	事前調査・作業計画・隔離作業等・作業届出	○遵守
上下水道法	工事基準の遵守、各種申請手続きの適正処理	○遵守
神奈川県生活環境の保全等に関する条例	自動車の駐車時の原動機の停止(アイドリングストップ)	○遵守
横浜市生活環境の保全等に関する条例	自動車の駐車時の原動機の停止(アイドリングストップ)	○遵守

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟はありませんでした。

11. 代表者による全体の評価と見直しの結果

2022年7月26日にエコアクション21に認証登録されてから、中間審査を経て、昨年、更新されました。当社はエコアクション21に取り組む前に、CSR活動・SDGsの取り組みを先行で実施しておりました。エコアクション21とCSR活動・SDGsの取り組みは、共通することも多く、二酸化炭素排出量・廃棄物排出量等を数値で把握することにより、客観的に自社の活動を評価できます。今年度は、目標を2021年度～2023年度の3年実績にして再設定したことにより、本社・栃木出張所の全体では目標を全て達成することができました。特に昨年度達成できなかった産業廃棄物の適切な管理が進み目標達成ができたことは評価できます。

電力使用量に関しては、本社(2016年築)、栃木出張所(2021年築)ともに建物が新しく、LED照明導入によりエネルギー効率が良いからか、節電につながっていると考えられます。しかし、栃木出張所は目標設定に旧事務所の面積が少ない時の実績数値も含まれているため、3年連続、栃木事務所での目標は達成できておりません。再度、データを精査し、来年度は目標の再設定を実施してください。

ここ数年、社内教育に積極的に取り組んでいるほか、社外に向けて環境問題・SDGsに関する発信も進めています。エコアクション21を通して得た知識・経験を、今年度は大学生・小学生向けに環境教育を実施することができました。引き続き、社外への取組も進めていってください。

依然として、社会全体において物価高、資材高騰等、厳しい風が吹いています。今後より一層、持続可能な社会を目指した環境経営計画の取り組みが必要となります。次世代の地球環境のため、また、建設業の責務としてPDCAを回しながら、引き続き環境経営システムに取り組んでください。

見直し結果	変更の必要性
環境経営方針	なし
環境経営目標及び 環境経営計画	栃木出張所の電力使用量の目標値の再設定を実施してください。
実施体制	なし 本社・栃木出張所ともに協力して、取り組んでください。

2024年12月1日
新興電設工業株式会社
代表取締役 池松 忠彦